

2025年9月9日作成 Ver.2.0

《情報公開文書》

若年者における精神疾患発症予測スコアの開発に関する研究

研究の概要

【背景】

精神疾患の発症に関連するリスク因子及び保護因子はいくつか明らかになっています。精神疾患発症のリスク因子として貧困などの社会的要因や、虐待やトラウマ、ストレスなどの環境的要因が挙げられます。一方、精神疾患発症の保護因子としては家族や友人だけでなく、地域の支援などの社会的支援、安定した教育や職業などが挙げられます。脆弱な保護因子は増大したリスク因子を防ぎきれず、子どものメンタルヘルスに重大な影響を及ぼしてしまいます。しかし、メンタルヘルスのリスクを評価し、どのような子どもに支援を行うべきかという明確な指標は未だなく、早期の精神障害予防への介入は乏しい状況が続いています。

【目的】

本研究では精神疾患を発症した若年者と健常人を比較し、危険因子及び保護因子についてデータマイニングを用いて解析を行い、複数因子を組み合わせた精神疾患発症リスクの予測スコアを作成することを目的とします。

【意義】

精神疾患発症リスクの予測スコアを作成することで、早期の精神障害予防の一助となる可能性があります。

【方法】

精神疾患を発症した若年患者さんと精神疾患を発症していない若年者において、精神疾患のリスク因子、保護因子及び簡単な心理検査などの情報を比較解析します。

対象となる患者さん

長崎大学病院の患者さんで下記の条件を満たす方

- 1999年1月1日以降に出生し、25歳までに精神疾患を発症した患者さん
- 2000年1月1日～2024年12月31日に長崎大学病院精神科神経科を受診された精神疾患患者さん
- 性別は不問
- 対象には外国人の方も含みます。

研究に用いる情報

●研究に用いる情報

下記の情報を診療録より収集します。

- ・患者情報：性別、年齢、身長、体重、診断名、学歴、職業、治療内容、精神神経症状に対する精神科医師の評価、身体症状、血液学的検査、血液生化学検査、髄液検査、頭部画像検査、各種心理検査など

本研究で利用する情報等について詳しい内容をお知りになりたい方は下記の「お問い合わせ先」までご連絡ください。

外部への情報の提供について

本研究では上記の情報をデータ解析のため下記へ提供します

提供先：長崎大学情報データ科学部

提供方法：郵送

情報の利用開始予定日／提供開始予定日

本研究は2025年11月6日より「研究に用いる情報」を利用し、長崎大学情報データ科学部へ提供する予定です。

あなたの情報をこの研究に使われたくない方は下記の「問い合わせ先」までご連絡頂ければ対象者から外します。その場合もあなたの治療等に不利益になることはありません。

ご連絡のタイミングによっては対象者から外せない場合もあります。

あらかじめご了承ください。

研究実施期間

研究機関長の許可日～2027年3月31日

研究実施体制

研究責任者	所属：長崎大学病院 精神科神経科 氏名：浦島 佳代子 住所：長崎県 長崎市 坂本1-7-1 電話：095(819)7294
情報の管理責任者	長崎大学病院 病院長

問い合わせ先

【研究の内容、情報等の利用停止／他機関への提供停止の申し出について】

長崎大学病院 精神科神経科 浦島 佳代子

〒852-8501 長崎市坂本1丁目7番1号

電話：095（819）7294 FAX 095（819）7875

【ご意見、苦情に関する相談窓口】（臨床研究・診療内容に関するものは除く）

苦情相談窓口：医療相談室 095（819）7200

受付時間 : 月～金 8:30～17:00（祝・祭日を除く）